



2023年4月期 第3四半期決算説明資料

株式会社 イメージ・マジック

2023年3月17日

証券コード：7793

目次

- 1 会社概要
- 2 2023年4月期 第3四半期業績
- 3 Appendix

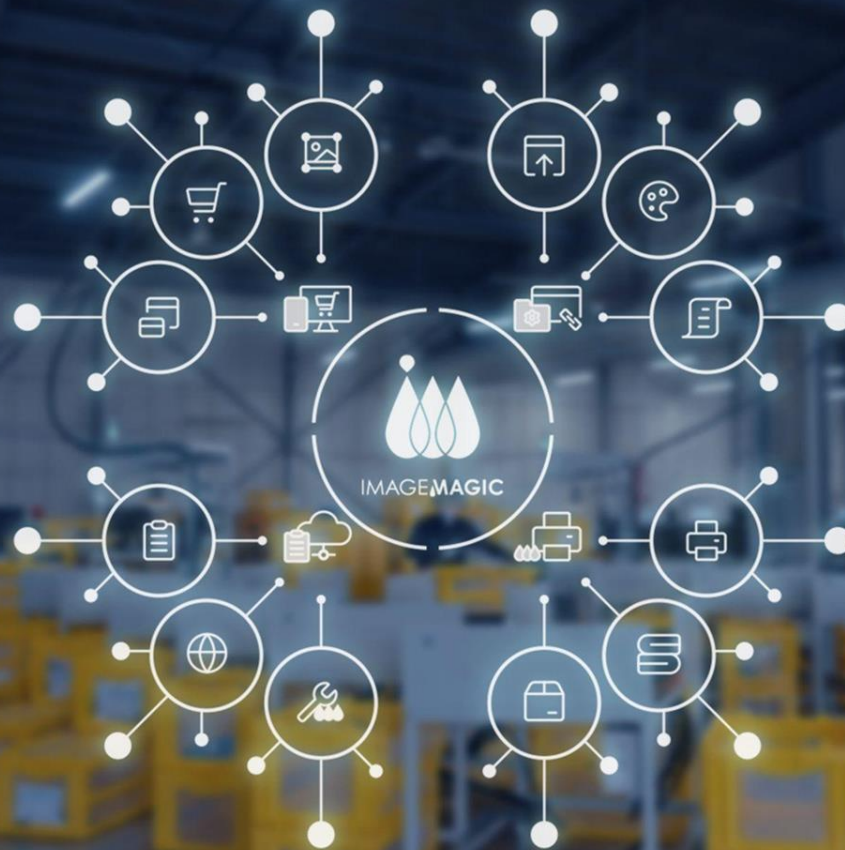
1

会社概要

Corporate profile

会社概要

会社名	株式会社イメージ・マジック
事業内容	オンデマンドプリントプラットフォームの提供
設立	1995年5月
代表者	代表取締役社長 山川 誠
資本金	301百万円（2023年1月末現在）
所在地	本社 Tokyo 東京都文京区小石川1-3-11 ライジングスクエア後樂園ビル GPC工場 Gifu 岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17 小豆沢工場 Tokyo 東京都板橋区小豆沢1-7-16



イメージ・マジックの目指す世界

個性と創造性溢れる 豊かな社会づくりに貢献します。

“プリント×IT”で起こす、イノベーション



簡単・便利な モノづくりを実現

お客様が簡単/便利にモノづくりができ、お手頃価格で欲しいタイミングでお手元に届くことを実現する。



オンデマンド 生産市場拡大に貢献

工場のモノづくりのDX化をサポートし、オンデマンド生産市場拡大に貢献する。



在庫を減らし つくる責任を果たす

オンデマンド生産できるアイテムを拡げ、世の中の無駄な在庫を減らし『つくる責任』を果たす。



ソリューションを グローバルに提供

世界中から最適なソリューションをマッチアップし、信頼されるサービスをグローバルに提供していく。

事業内容

当社ビジネス オンデマンドプリントサービス・ソリューションサービス

オンデマンドプリント サービス

1 自社受注サイト

当社インターネットサイトを経由で受注しプリント加工を行い出荷するサービス

 オリジナルプリント.jp



2 連携パートナー

連携パートナー企業と呼んでいる当社のシステムと接続した会社経由で受注データを取り込みプリント加工を行い出荷するサービス



主なグッズ一例 |

オリジナルグッズ/カジュアルギフト/クリエイターグッズ/
エンターテインメントグッズ/ノベルティ/ユニフォーム


SaaS

ソリューションサービス (ODPS) ※

3 ソフトウェアの提供

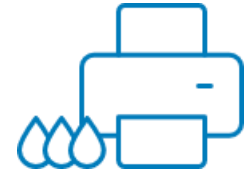
オンデマンドプリントの各ワークフローをOEM及びSaaS型モデルとして提供

 maker town



ハードウェアの提供

プリンター/たたみ機/梱包機等
生産・出荷プロセスに関わる
ハードウェアを提供



※ODPS：当社サービス名「On Demand Print Solutions オンデマンドプリントソリューションズ」の略

2

2023年4月期 第3四半期業績

Financial results

2023年4月期 第3四半期 業績ハイライト

連携パートナー売上の減少、物価高の影響、
販管費増等により前年同期比増収減益

売上高

3,972百万円

前年同期比 +3.6%

営業利益

62百万円

前年同期比 Δ 82.5%

経常利益

69百万円

前年同期比 Δ 80.3%

当期純利益

29百万円

前年同期比 Δ 89.3%

2023年4月期 第3四半期 業績

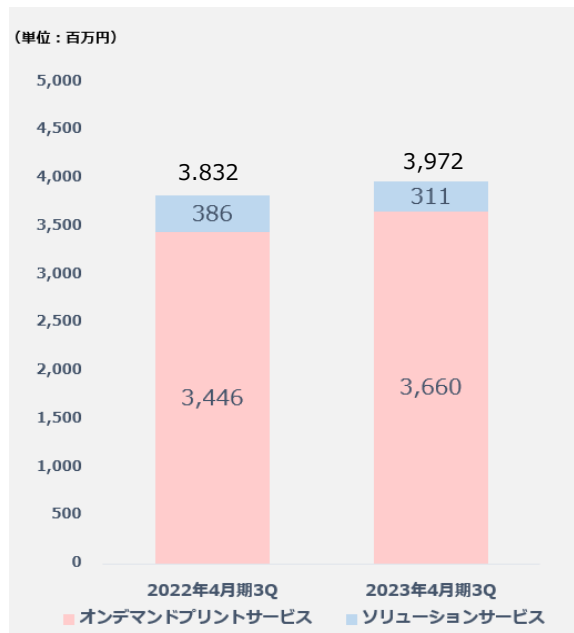
P/Lサマリ (前年同期比)

(単位：百万円)	2022年4月期	2023年4月期	前期比	
	3Q実績	3Q実績	増減額	増減率
売上高	3,832	3,972	139	3.6%
営業利益	355	62	△ 293	△ 82.5%
対売上比 (%)	9.3%	1.6%	△ 7.7pt	—
経常利益	350	69	△ 281	△ 80.3%
対売上比 (%)	9.2%	1.7%	△ 7.4pt	—
当期利益	274	29	△ 245	△ 89.3%
対売上比 (%)	7.2%	0.7%	△ 6.4pt	—
EBITDA※	481	214	△ 266	△ 55.4%
対売上比 (%)	12.6%	5.4%	△ 7.2pt	—

※：EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）

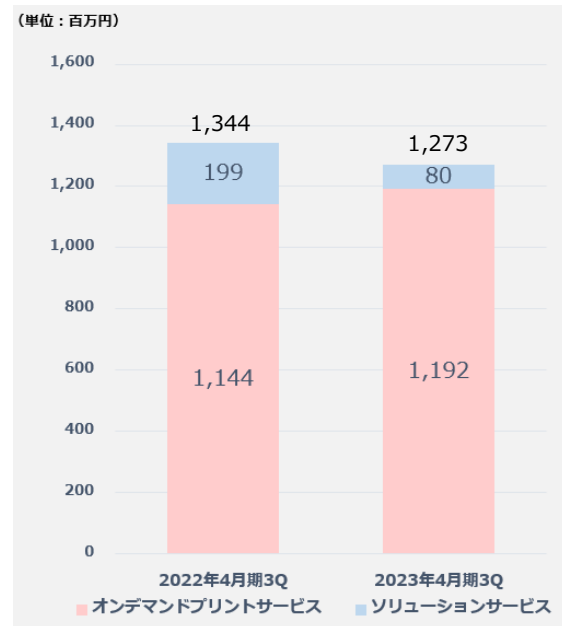
2023年4月期 第3四半期 業績 サービス別 収益構成の前年同期比較

4Q以降ハードウェアの販売促進、オリジナルプリント.jpの
プロモーション強化により売上総利益増大を目指す



サービス別 売上高

- ソリューションサービス：**
ソフトウェア、ハードウェアともに当期は大型案件なく減収
- オンデマンドプリントサービス：**
オリジナルプリント.jpは前年同期比 367百万円増（26.4%増）となった一方、連携パートナー向け売上は減少

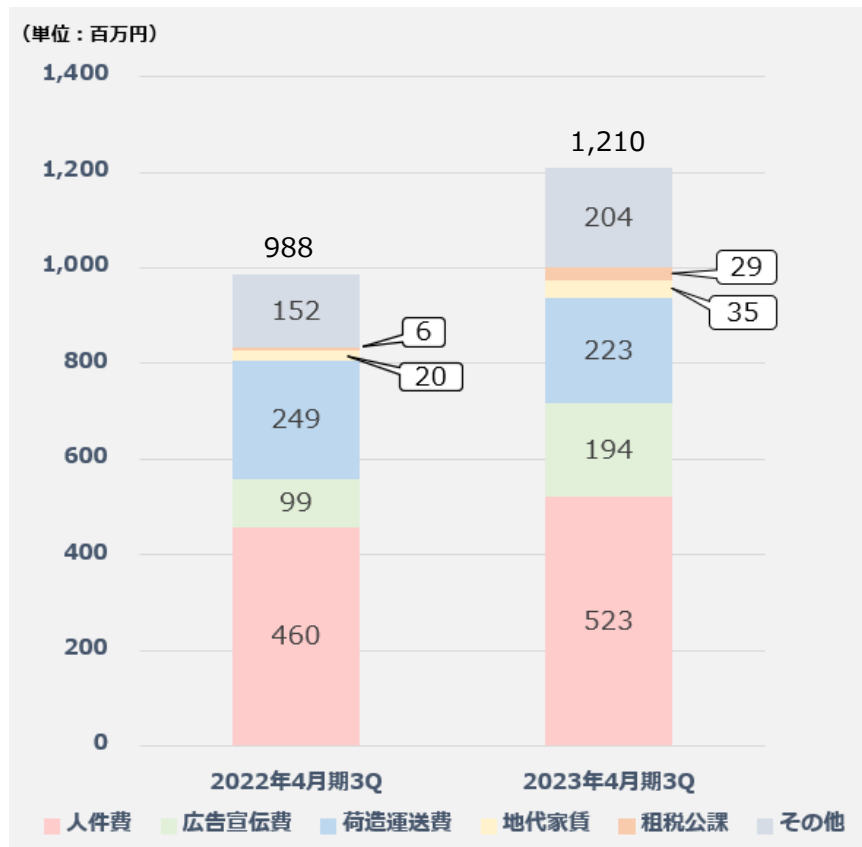


サービス別 売上総利益

- ソリューションサービス：**
前期はソフトウェア開発の好採算大型案件があったため反動減
その他販売用インクの新商品導入による旧商品の評価損、
円安に伴う仕入価格高騰による原価増
- オンデマンドプリントサービス：**
材料費率増、水道光熱費増等により売上総利益率0.6%低下

2023年4月期 第3四半期 業績 販管費の前年同期比較

販売費及び一般管理費の主な内訳



当期販売費及び一般管理費

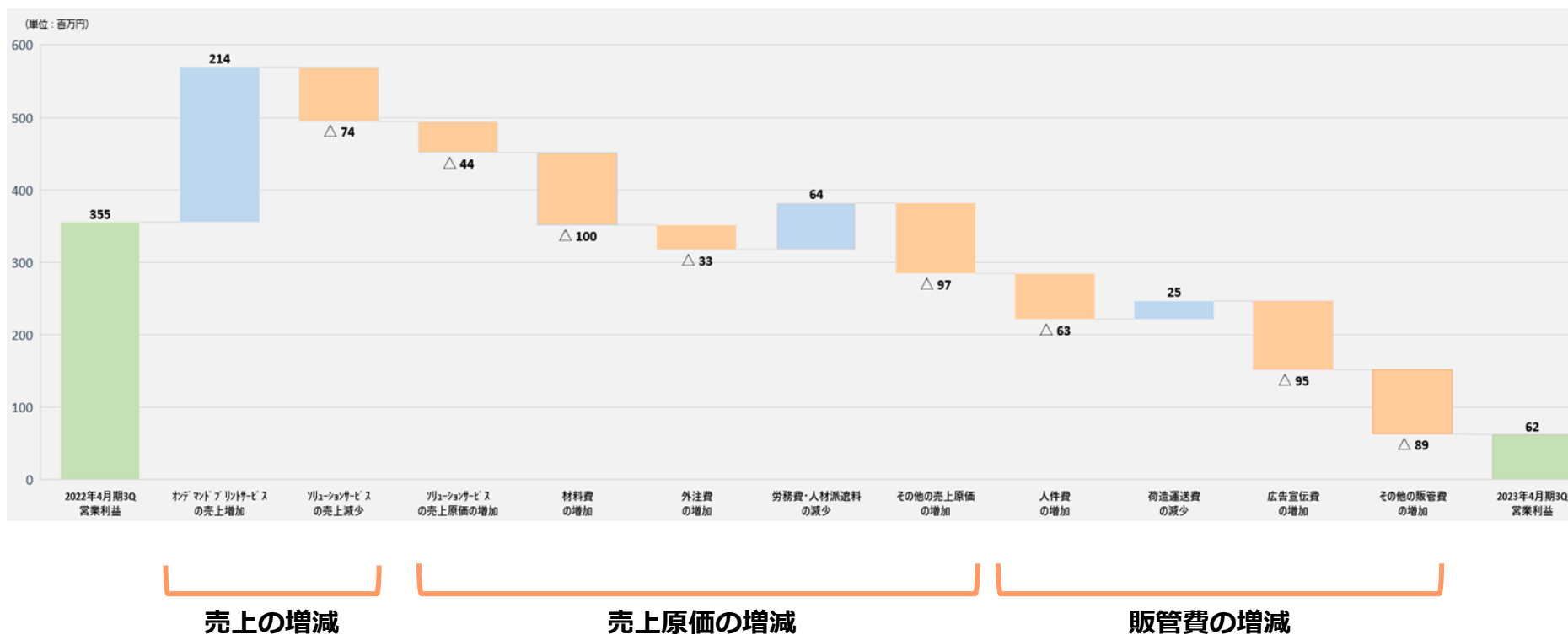
1,210百万円

前年同期比：222百万円増 (+22.5%)

- **人件費**
 営業部門等の人員採用による増加
523百万円
 前年同期比：63百万円増 (+13.8%)
- **荷造運送費**
 配送個数減（客単価は増）により減少
223百万円
 前年同期比：25百万円減 (△10.4%)
- **広告宣伝費**
 積極的な広告出稿により増加
194百万円
 前年同期比：95百万円増 (+95.9%)

2023年4月期 第3四半期 業績 営業利益の増減分析

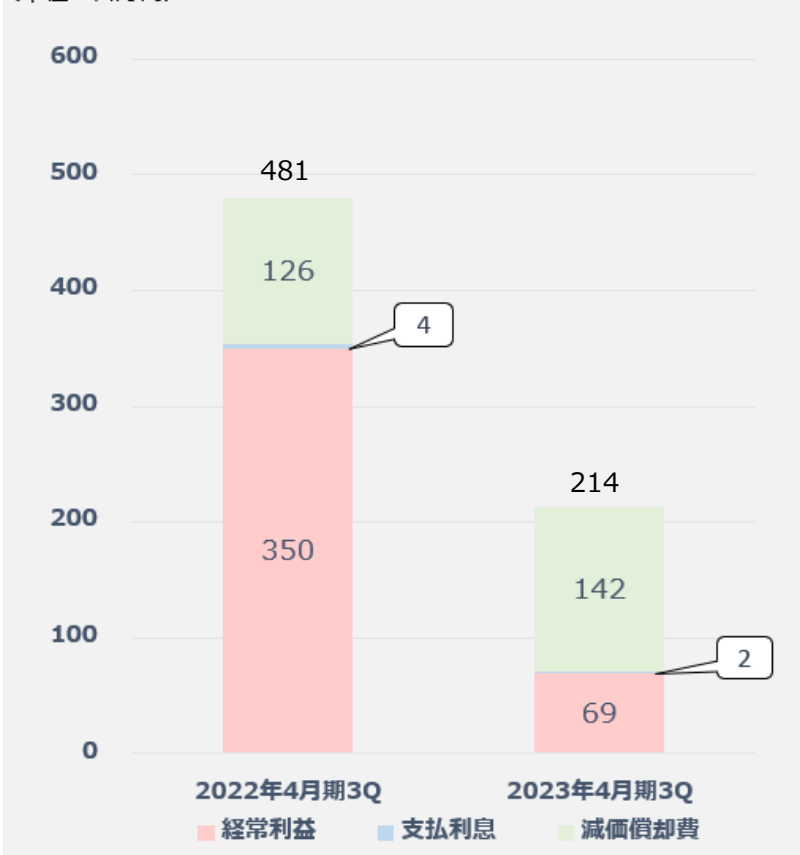
営業利益 前年同期比 293百万円減（82.5%減）の主な要因



2023年4月期 第3四半期 業績 EBITDAの前年同期比較

経常利益減に伴いEBITDAも減

(単位：百万円)



EBITDAマージン
5.4% (前期12.6%)

■ 経常利益
売上総利益率低下、販売費及び一般管理費増
69百万円
前年同期比：281百万円減 (△80.3%)

■ 支払利息
新規の有利子負債はなし
2百万円
前年同期比：1.2百万円減 (△29.6%)

■ 減価償却費
機械等の投資により増加
142百万円
前年同期比：16百万円増 (+12.8%)

2023年4月期 第3四半期 業績 B/Sサマリ

自己資本比率は60%超 資金調達余力は十分

(単位：百万円)	2022年4月末	2023年1月末	前期末比
	前4Q	当3Q	増減額
資産合計	2,355	2,111	△ 244
流動資産	1,701	1,379	△ 321
固定資産	654	731	77
負債合計	1,092	817	△ 274
流動負債	736	559	△ 177
固定負債	355	258	△ 97
純資産	1,263	1,293	30
総資産	2,355	2,111	△ 244
有利子負債	472	334	△ 138
自己資本比率 (%)	53.6%	61.3%	+7.7pt

3

Appendix

事業概要図

オンデマンドプリント
サービス 当社領域

ソリューション
サービス 当社領域

他社領域



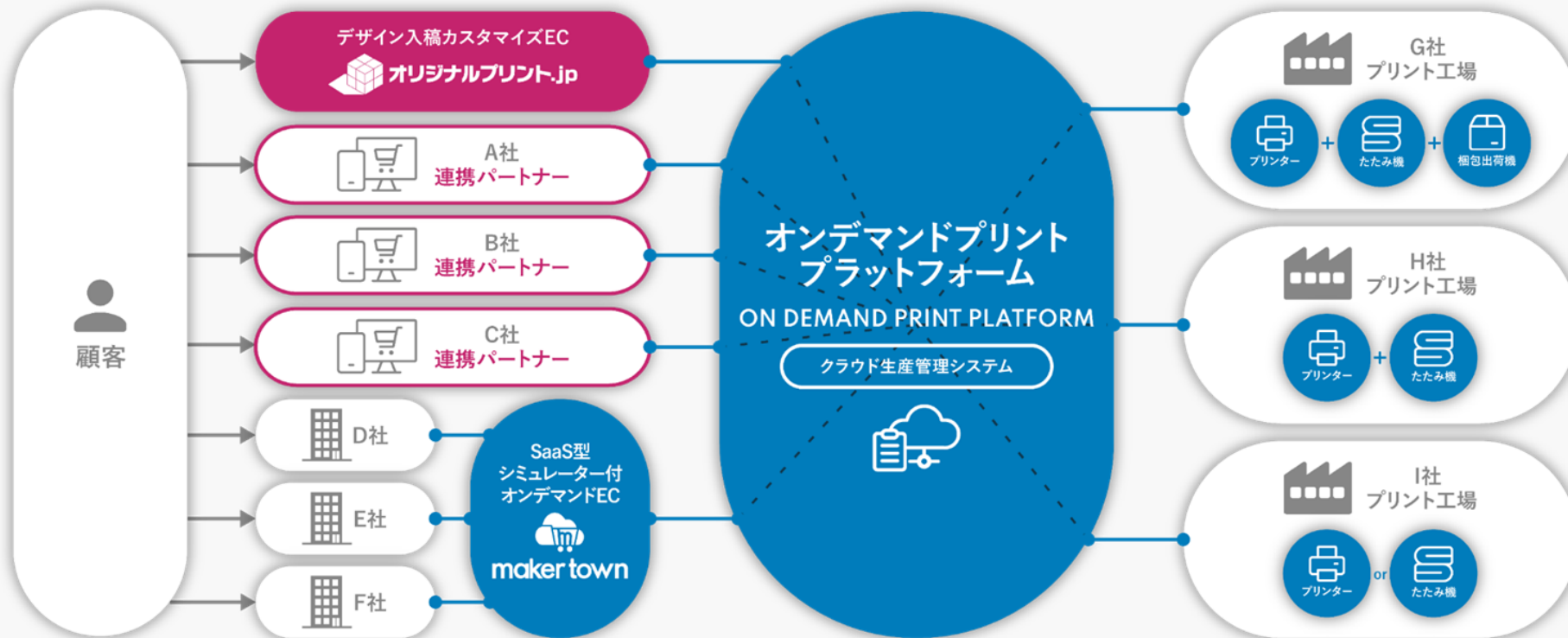
受注システム



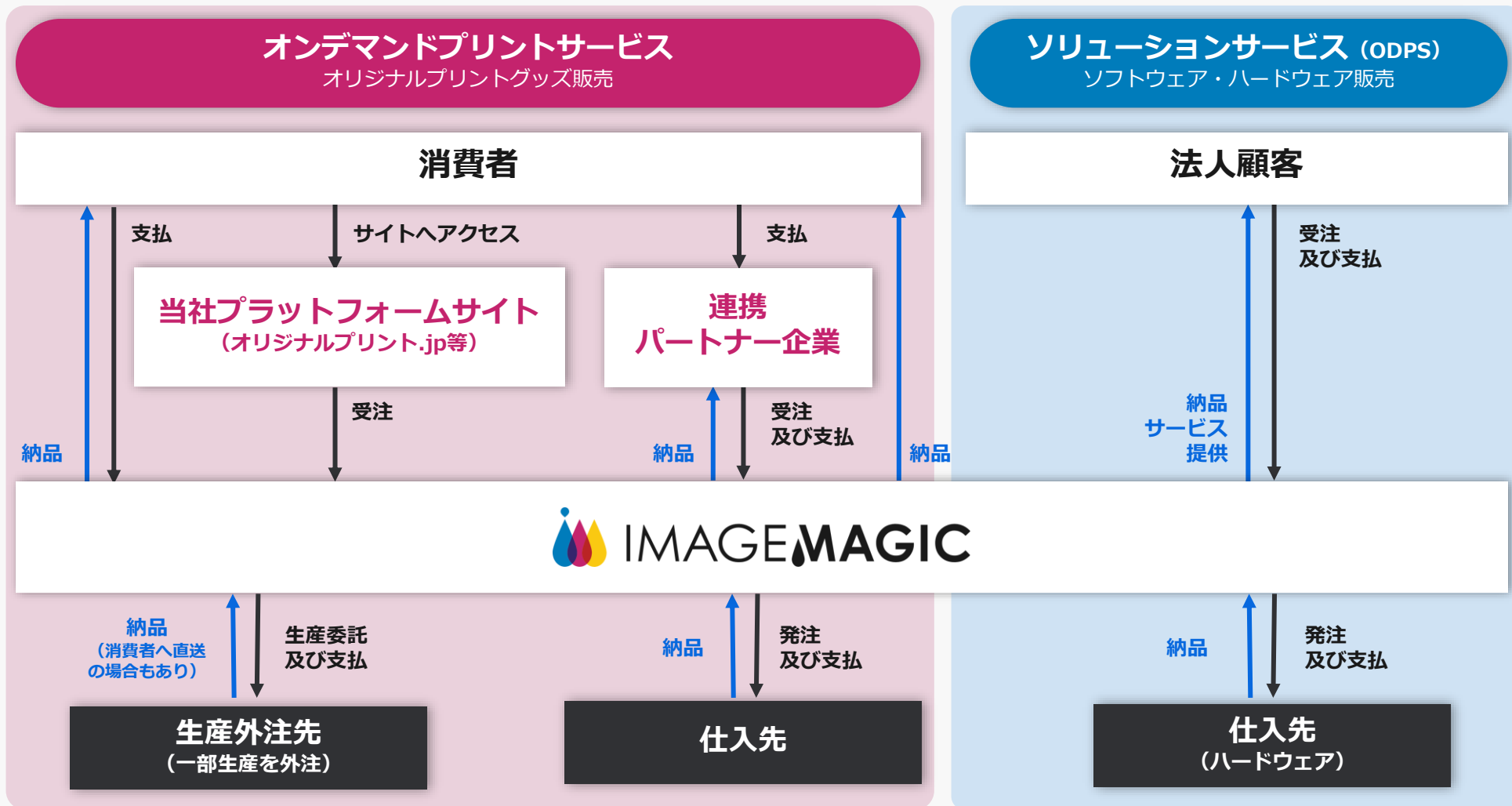
クラウド生産管理
システム



ハードウェア



プリント×ITで新たな価値を創造する オンデマンドプリントプラットフォーム



1 オリジナルプリント.jp

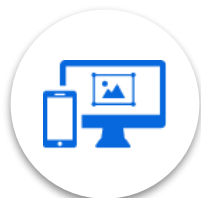


国内最大級かつ
シミュレーター付オンデマンドECにより
受注自動化のパイオニア

- ・オリジナルグッズを作成できるECサイト
- ・当社独自開発のデザインツールにより簡単にカスタマイズ可能
- ・価格/納期/仕上がりイメージを事前に確認可能なサービスのパイオニア
- ・アパレル・雑貨等
約1,900種類の豊富なアイテムを1点から作成可能
- ・注文から出荷連絡までのサイトオペレーションを自動化



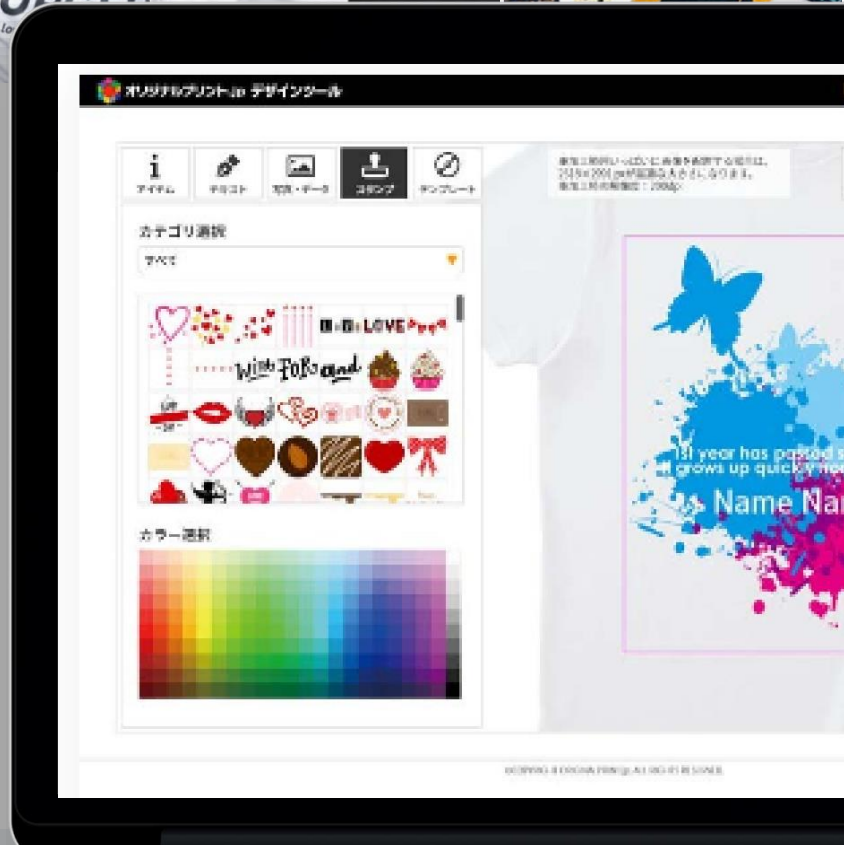
アイテムを
選ぶ



デザインツール
を使って
カスタマイズ



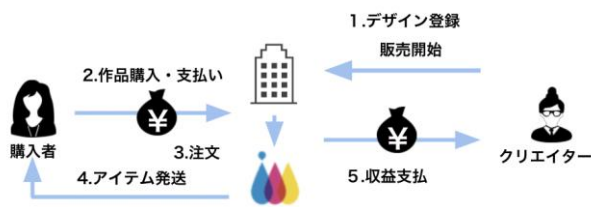
価格/納期等
お客様が知りたい
情報を事前に
確認してから発注



② 連携パートナー/法人からの受注

拡大しているオンデマンドプリントの ビジネスフロー

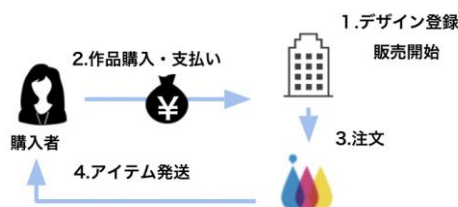
例：クリエイター



ビジネスフロー

- デザイン提供者であるクリエイターの出品アイテムの販売に対応
- 受注、生産、アイテムの出荷まで、クリエイターの手間が全くかからない

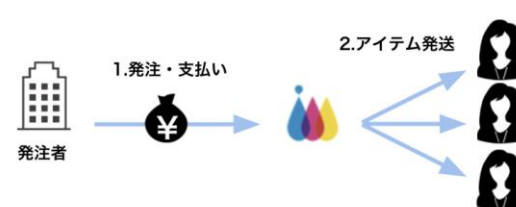
例：コンテンツホルダー



ビジネスフロー

- 販売する会社はキャラクター・有名人などのコンテンツを用意するだけで、幅広いアイテムの販売が可能
- 購入者が注文した後に、アイテムを作成して出荷するため在庫ロスなし

例：バリエブル印刷※



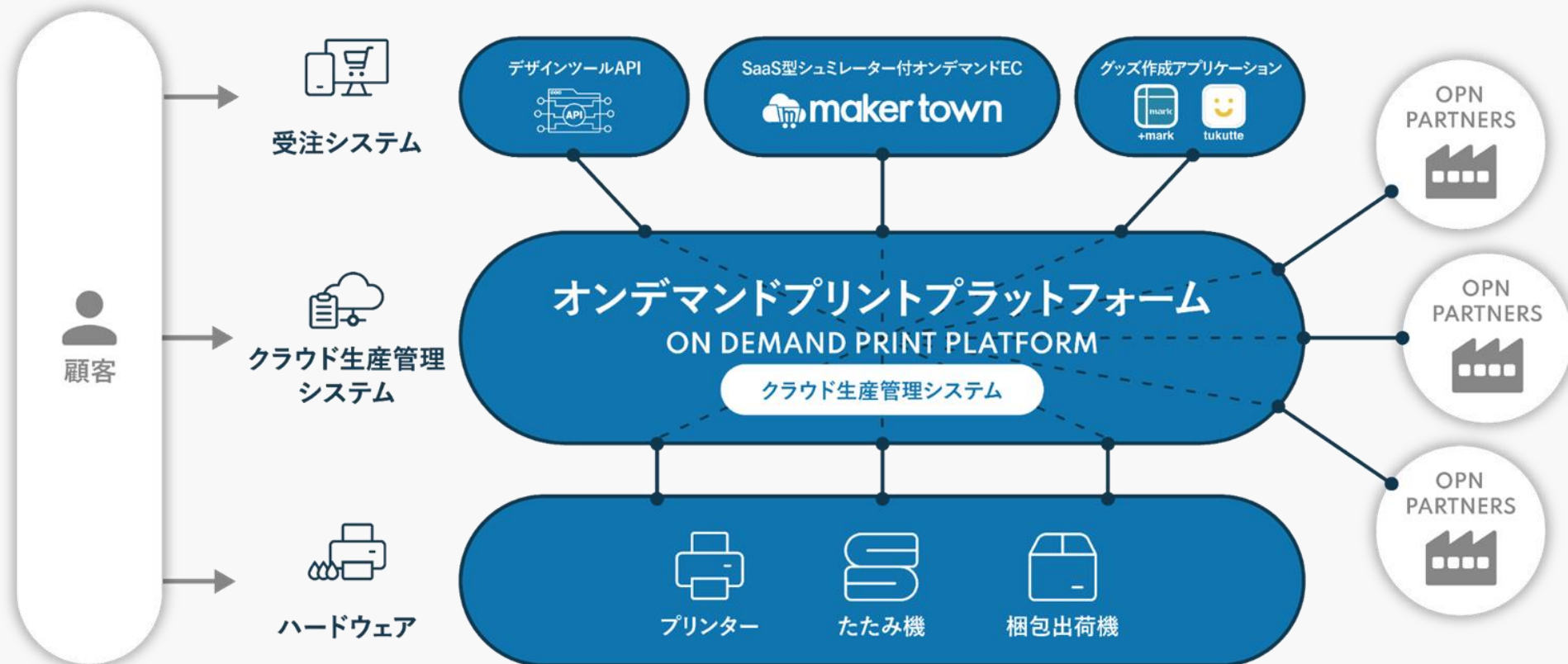
ビジネスフロー

- オンデマンドプリントのワークフローを活用し、小ロットからのオーダーが可能
- システム連携を前提とした1オーダー1デザインの購入者ごとのバリエブル印刷に対応

※バリエブル配送：データベースから情報を抽出し1案件ずつ異なる宛先への配送を行うこと

3 ソリューションサービス ビジネスモデル

受注から生産管理システム、ハードウェア等の 自社開発サービスをソリューションとして提供

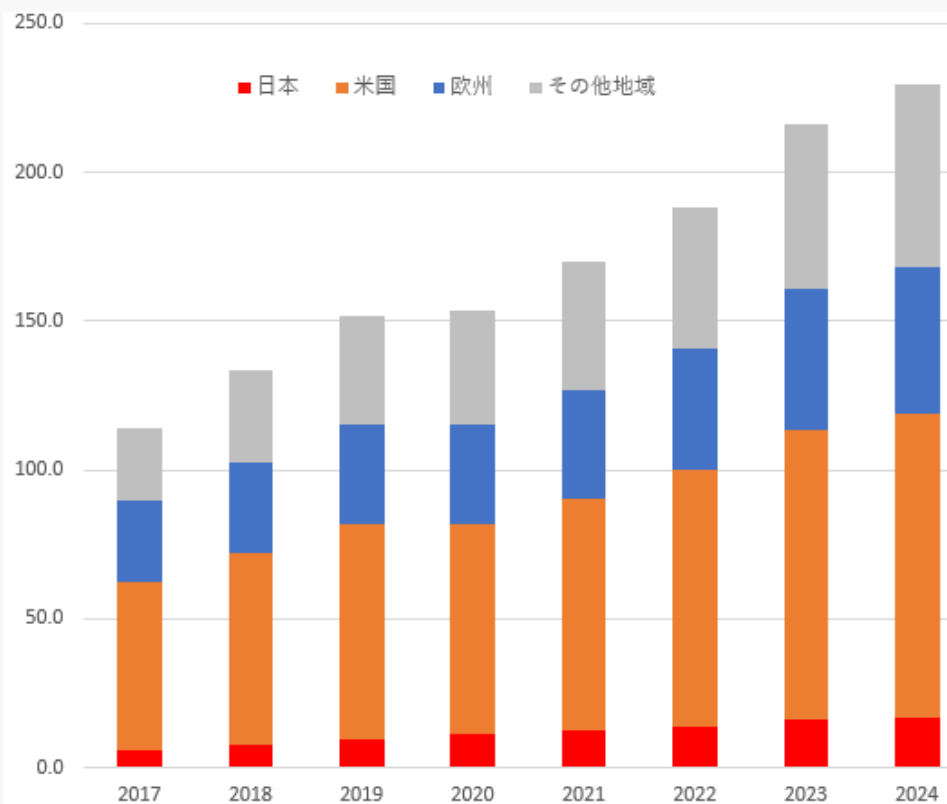


ソリューションサービス事業 **オンデマンドプリントマーケット**

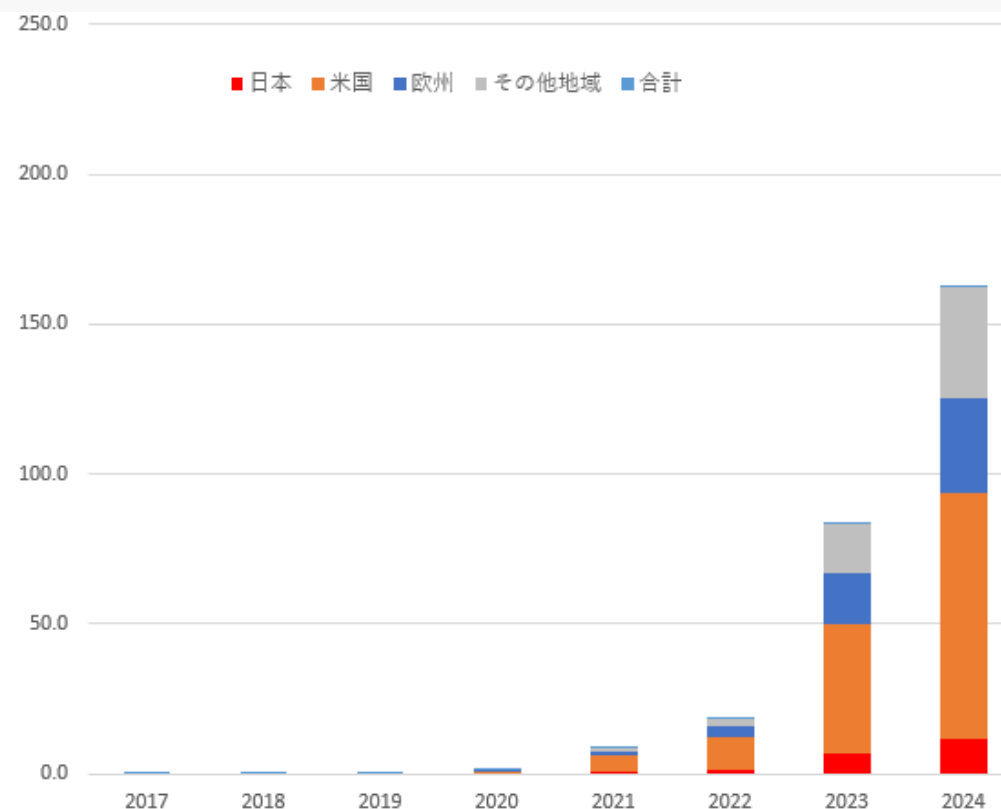
当社が拡販しているDTFはDTGの市場規模拡大を追う形で急成長

DTG

(加工箇所数推移 単位百万枚)



DTF



※グローバルなリサーチ資料やインク会社からの情報を元に当社推計

ソリューションサービス DX化装置開発進捗状況

内製化比率を上げ装置開発スピードアップの体制構築

2021				2022												2023					
9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6

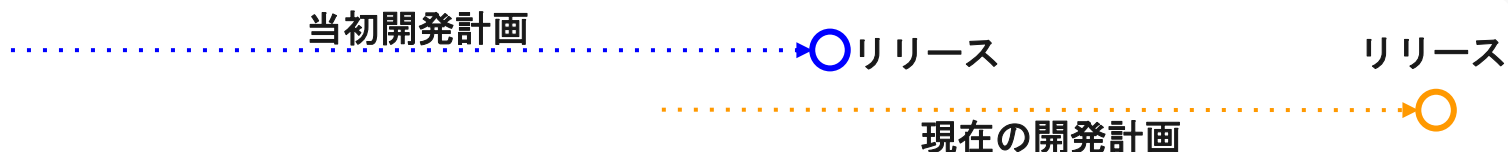
HAYATE
初号機



HAYATE
量産機



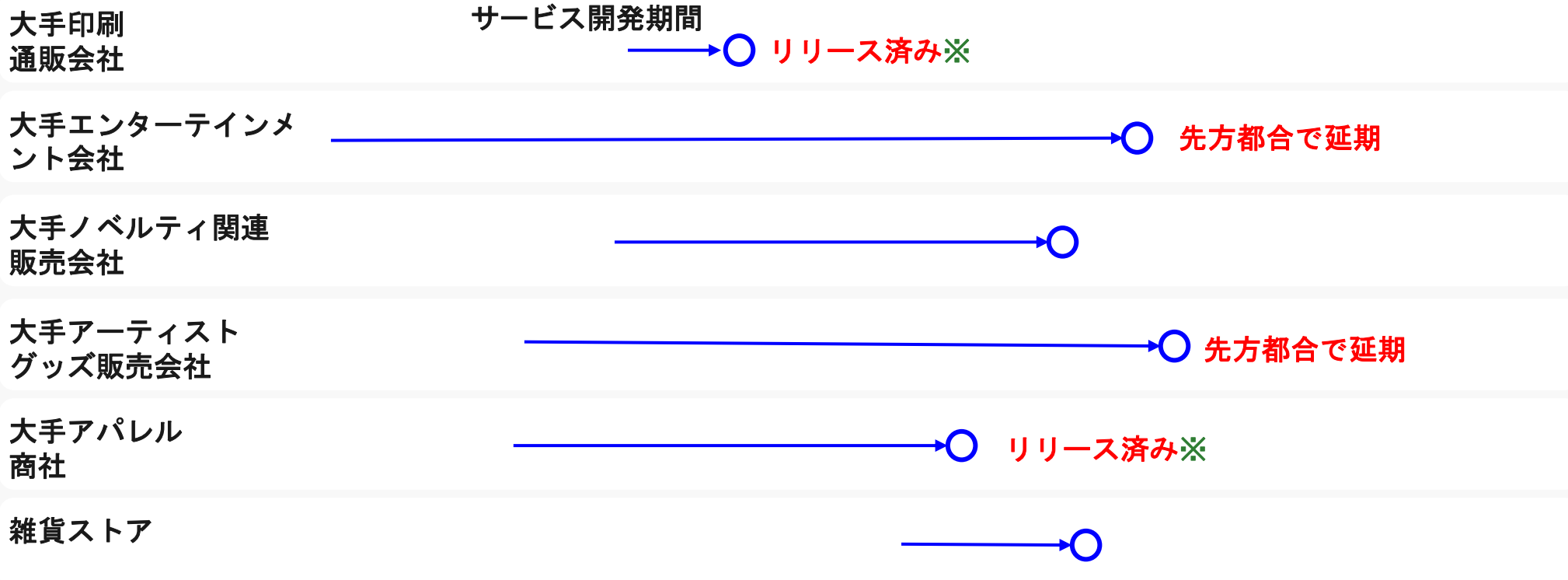
自動化
装置 1



2023年後半～2024年前半頃に複数の自動化装置リリース予定で進行中

オンデマンドプリントサービス システム連携サービス開始予定

2022								2023											
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



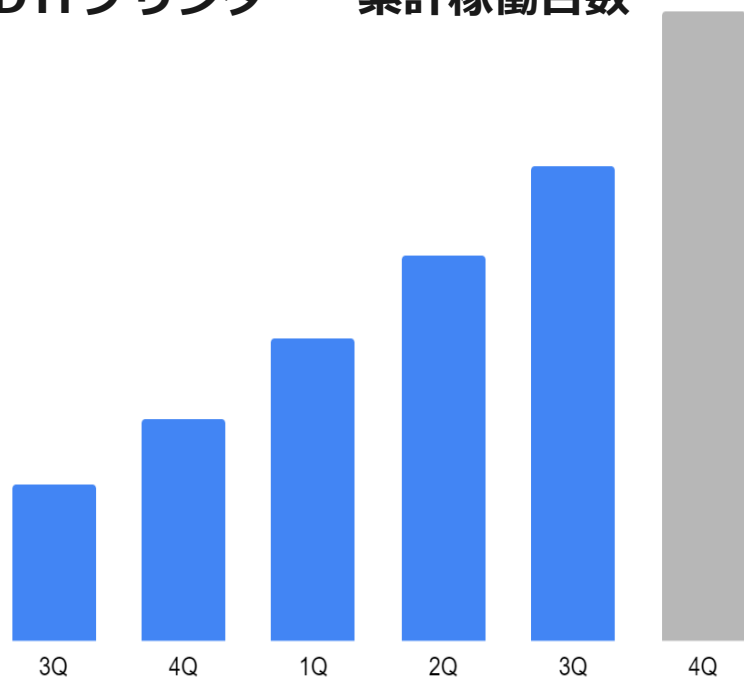
※先方の意向により非開示

注：サービス開発着手済みのパートナーのみ記載

ソリューションサービス事業 DTF関連推移

国内で最大級の稼働/出荷実績
2023年夏頃新製品リリース予定

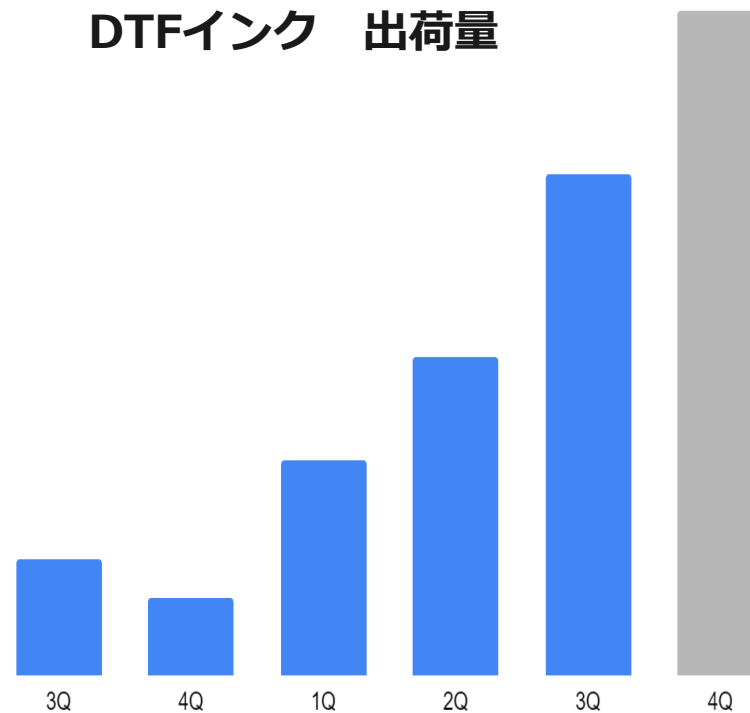
DTFプリンター 累計稼働台数



2022年4月期

2023年4月期

DTFインク 出荷量



2022年4月期

2023年4月期

本資料の取り扱いについて

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。